

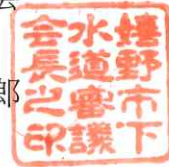
令和7年11月25日

嬉野市下水道事業

嬉野市長 村上 大祐 様

嬉野市下水道審議会

会長 角田 幸太郎



嬉野市下水道事業経営戦略の改定について（答申）

令和7年8月4日付け嬉環下第137号で諮問がありました「嬉野市下水道事業経営戦略の改定」に伴う基本的な考え方や方向性について、慎重に審議した結果、当審議会の意見を「答申書」により提出いたします。

嬉野市下水道事業経営戦略の改定について  
答申書

令和7年11月25日

嬉野市下水道審議会

## 1 はじめに

嬉野市下水道事業経営戦略の改定に関して、令和7年8月に市長からの諮問を受けて、嬉野市下水道審議会を開催しました。

嬉野市下水道事業の経営戦略は、将来にわたって安定的に事業を継続していくための中長期的な経営の基本計画として、令和4年3月に策定されました。今回の改定は、将来的な人口減少等に伴う収入の減少や、施設の老朽化対応等による支出の増加等の経営環境の変化に対応するために行うもので、主に今後の投資・財政計画（収支計画）について審議を行いました。

その結果として、次のとおり意見を集約しましたので、嬉野市下水道事業経営戦略（案）を示し答申いたします。

## 2 経営の基本方針について

嬉野市下水道事業は、農業集落排水事業、公共下水道事業と特定地域生活排水処理事業（市営浄化槽事業）の3事業を行っているため、経営戦略においてもこれらを区分する必要があるが、経営の基本方針については、下水道事業を嬉野市全体でとらえ、持続可能な事業経営を進めることを念頭に策定すること。

## 3 投資・財政計画について

- ・令和12年度以降、建設改良費や企業債償還金の財源が不足するおそれがあるので、得られた利益は、建設改良費や企業債償還金の財源として計画的に積立てを行うこと。
- ・管路・施設の更新にあたっては、負担を考慮し、最適化を検討すること。
- ・特定地域生活排水処理事業（市営浄化槽事業）は、使用料を改定しても赤字補てんである一般会計繰入金（基準外）が発生する。「雨水公費、汚水私費」の原則に基づき、独立採算となる料金体系を検討すること。

## 4 附帯意見

一般会計からの繰入金について

下水道資本整備に係る世代間負担の公平性を図ることを目的として、令和5年度より資本費平準化債の借入を行ってきたものの、近年の金利上昇の影響を受

け、利息の返済額が増大し、経営状況の悪化が懸念されます。今後は、資本費平準化債に頼らず、高資本費対策を踏まえた一般会計からの繰入金により安定的に下水道事業を経営することが適当であると判断します。

## 5 結び

下水道事業については、施設や管路の老朽化に伴い更新需要が高まっていくほか、物価高騰の影響による事業費の増加や人材の確保など、今後も厳しい経営環境が見込まれています。経営戦略改定案に定めた事項については、事業を取り巻く環境の変化に柔軟に対応、適宜見直しを行い、市民等の理解と協力を得ながら進めるよう要望します。

最後に、嬉野市の下水道事業が、住民及び事業者の理解と協力を得ながら公営企業として不断の経営努力を行い、適正な事業運営を図られるよう強く要望するとともに、将来にわたり安全で快適な下水道サービスを持続的かつ安定的に提供し、その責務を果たすことを期待します。

嬉野市下水道審議会委員名簿

	氏名	備考
会 長	角田 幸太郎	学識経験者
副会長	北川 泰則	民間団体の代表者
委 員	鳥巢 克文	民間団体の代表者
委 員	中尾 嘉伸	学識経験者
委 員	田島 昭英	民間団体の代表者
委 員	松本 泰宏	民間団体の代表者
委 員	池田 憲明	市長が必要と認める者
委 員	野辺田 健児	市長が必要と認める者
委 員	井上 初美	市長が必要と認める者
委 員	岡 典子	市長が必要と認める者

嬉野市下水道審議会の開催状況について

回数	開催日時	開催場所	議事
第1回	令和7年8月4日(月) 午後2時～3時	嬉野市役所 嬉野庁舎 3-1 会議室	・市長諮問 ・嬉野市下水道事業経営 状況について
第2回	令和7年10月7日(火) 午後2時～3時	嬉野市役所 嬉野庁舎 3-1 会議室	・経営戦略(案)について
第3回	令和7年11月25日(火) 午後2時～3時	嬉野市役所 嬉野庁舎 3-1 会議室	・答申